Eco Car Cup

ECO CAR on the CIRCUIT

2026
RULE BOOK

更新履歴

2026 年 8 月 13 日 タイムスケジュール更新

2026 年 6 月 12 日 BEV クラスのルール更新

2026 年 6 月 9 日 料金改定

2026 年 6 月 5 日 電気自動車クラスの追加ルール掲載

大会情報

大会名称

Eco Car Cup　2026（エコカーカップ 2026）

大会概要

エコカーカップには 60 分耐久と 180 分耐久それぞれ素性の違う 2 種類のレースがあり、目的に合わせてご参加頂けます。また両方のレースを制したチームにはエコカーレースの最高峰である証 “Master of Eco Car” の称号を与えています。

***Enjoy 60* とは？**

初心者や未経験者でも “十分安全に走行できるであろう ラップタイム” 4 分 45 秒 が設定された安全重視の 1 時間耐久レースです。高速走行が許されていない反面、低速走行による低燃費走行が要求されるため、速く走るためのドライビングテクニックより、むしろエコランテクニックが要求されるレースです。 このレースで消費される燃料は、何と 1.5ℓ～2ℓ 程度です。

***Challenge 180* とは？**

Enjoy 60 同様、初心者でも参加できる安全重視のレースですが Enjoy 60 との大きな違いは、ラップタイムと周回数、そしてピット回数に厳しい規定値が設けられていること。

最短ラップタイムは 3 分 15 秒、周回数は 50 周、ピット回数は 5 回。 この規定により燃費重視でゆっくり走ると周回数不足に陥り、周回数重視で速く走ると燃費不足に陥るとても厄介なルール。 それに加えてレース順位も結果に大きく影響するためレース中は全体のポジションを把握しながらレースを展開していく必要があり、レースの駆け引きは勿論エコランテクニック、ドライビングテクニック、ナビゲーションテクニック、ピットワークなどの総合力が要求され非常に奥が深く、またレースの醍醐味を存分に味わう事が出来ます。

PHEV クラス

このクラスは燃費に配慮したエコ走法は無論、コースの高低差を利用した EV 走法も要求され、更には Challenge180 を走行しながらにして Enjoy60 に備えた綿密なバッテリーマネージメントが要求される高度な総合決戦です。

なお参加できるレースは「ダブルエントリー」のみとなります。

***Enjoy60* ＆ *Challenge180* の最高峰冠 “*Master of Eco Car*”**

60 と 180 のダブルエントリーのチームを対象に、2 レースの合算結果による“Master of Eco Car”の称号を与えます。

なお PHEV 車両については、性能差を調整するためにハンディキャップポイントを適用しています(P7～P8)。

主催

富士スピードウェイ株式会社　㈹0550-78-1234

大会事務局

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694　0550-78-2255（事務局直通）

E メール ecocar@fujispeedway.co.jp

取材およびメディア関連

富士スピードウェイ株式会社 東京営業所 営業業務課 03-3556-8524

参加資格

1） ドライバーとパッセンジャーは、有効な自動車運転免許証を保有すること。単独での参加はできません。
2） チームは 2 名以上で構成ください。
3） 一人が複数のチームのドライバーを兼任することは出来ません。

【パッセンジャーに関する注意】

パッセンジャーとは、走行中に周囲の安全確認やタイム計測などを行いドライバーの補佐として安全にレースを運行することを目的として同乗します。「試乗」や「体験走行」を目的に同乗することは出来ません。乗車人数はドライバー1 名＋パッセンジャー1 名の合計 2 名となります。

参加料金

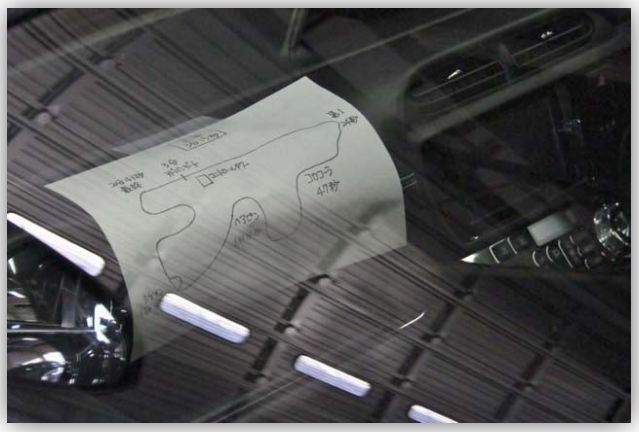
開催種目	参加料金
練習会（大会前日に開催）参加確認 13：30、走行 16：00～17：00	**20,000 円**
Enjoy 60 (1 時間耐久)	**24,000 円**
Challenge 180 (3 時間耐久)	**60,000 円**
Master of Eco Car（W エントリー 60 と 180 両レースに参加場合）	**73,500 円**

✓ 富士スピードウェイ入場に際し入場料金が必要です。中学生以下と FISCO ライセンス保有者は無料。
✓ 練習会について。初心者の方やサーキット初走行の方は経験しておく事を強く推奨します。走行するドライバーとパッセンジャーは、ヘルメット、グローブ、運動靴、長袖長ズボン（またはレーシングスーツ）を着用してご参加ください。
※ ダブルエントリーとは、両方のレースに同一車両、同一チームで参加するものとし、尚且つゼッケン番号も同一であることが条件となります。

参加申込からレース参加までの流れ

1） 大会内容を確認する。
2） エコカーカップ大会ホームページより WEB 参加申し込みを行う。
3） 参加料金を指定口座へ振り込む。 参加費が振り込まれたら「受理確定」となり、WEB のエントリーリストへ掲載されます。
4） WEB のエントリーリストに掲載されたゼッケン番号を用意してください。
5） 当日現地に集合し、参加確認にて参加誓約書の提出、発信機を受け取る。（受理証や整理券は発行致しません）
6） レースに参加。
7） 表彰式でトロフィーを受け取る。
8） 自由解散。

当日の持ち物



1） ルールブック
2） 参加誓約書
3） 参加車両
4） ヘルメット・滑りにくいグローブ・運動靴・長袖長ズボン（またはレーシングスーツ）
5） 簡単な工具（エアゲージやホイールナットの確認作業具など）
6） ガムテープ(発信機の固定に必要)
7） 印鑑
8） 運転免許証
9） ゼッケン番号

① 当日以下のゼッケンベースを 2 枚配布します。ゼッケンは 200mm×400mm の枠に入るサイズをご用意ください。数字の色に指定はありませんが認識できる色で制作ください。

② ゼッケンベースは左右ドアの計 2 面必須です。お好みによりボンネットに自分のゼッケンを貼っても構いません。

事前準備

1） オイル、ベルト、ブレーキ、タイヤなど事前に基本整備を済ませておいてください。著しいブレーキの磨耗やタイヤのスリップマークが出ている状態では走行できません。
2） フロアマット、ペットボトルなど、走行中に車内で移動や飛散すると思われる物は降ろしておいてください。
レーダー探知機、カップホルダーなど暫定的に固定されている物などは必ず取り外してください。またラップトップ PC などを車内で保持して走行することは禁止となります。
3） 車載工具に付属している「牽引フック」を取り付けてください。取り付け方法はオーナーズマニュアルに従ってください。
4） タイヤ
① 主催者が通称「S タイヤ」や「競技専用タイヤ」と判断した製品は使用できません。
以下はそれらの一例です。

使用できないタイヤ一例（2019 年）		
タイヤメーカー	ブランド名	タイヤ名称
横浜ゴム	ADVAN	A050/A049/A048
住友ゴム工業	FALKEN	RX-Ⅶ/RS-V04
	FOMULA-R	D93J
	DIREZZA	02G/03G/β10
ブリヂストン	POTENZA	RE11S/RE55S
東洋ゴム	PROXES	R888
HANKOOK	Ventus TD	Ventus TD
KUMHO	エクスタ	V710

② 一日を通し、使用できるタイヤは 1 セットとなります。但しバーストやパンクなど走行不能な場合においては、主催者の承認後、タイヤを交換することができます。

③ 使用できるタイヤサイズに制限を設けています。
タイヤの外径が純正規格品より小さなタイヤを使用しないでください。小径サイズのタイヤを使用するとメーターで算出される走行距離に誤差が生じ正しい燃費が算出できなくなります。
純正で使用されているタイヤサイズと同等、またはそれより外径が大きいサイズのタイヤをご使用ください。

④ ナンバープレートの装飾に規定は御座いませんが、走行中に剥がれる物の取付は禁止します。

大会協賛ステッカー

参加受付時に協賛各社のステッカーを配布いたします。
指定場所以外に貼ることは出来ません！決められた場所に貼っておいてください。（写真は一例）

ピットと個室の使用方法

ピット(個室含む)は 1 枠に対し数チームで割り振られ、全て共同使用となります。また使用するピット番号は事前に WEB のエントリーリストに掲載されます。各自確認の上指定されたピットをお使いください。
ピット内で食事は許可していますが、調理はご遠慮ください。調理を希望の方はピット裏でお願い致します。
【ピット内の禁止事項】

① 独占使用
② 給油作業、ガソリン保管（給油はガソリンスタンドで行ってください）
③ パテーションの設置
④ 調理
⑤ 喫煙

【ピット裏での調理について】

ピット裏で使用できる調理器具は、カセットコンロと電器コンロの 2 種のみとなります。炭などは使用できません。

ピットレーン(ピットロード)・作業エリア・サインエリアの使用方法

ピットレーンは自動車の走行が優先されます。サインエリアへの横断の際は周囲を確認してください。

作業エリアはピットインの交代作業に使用する場所です。車の停止・発進・ドア開放時は十分注意を払いピットクルーと連携して安全に運行ください。

【禁止事項】

① 指定ピット(作業エリア含む)以外を使用

② レース中は小学生以下のピットレーン・サインエリア・作業エリアの立ち入り禁止(ピット内は可)

③ 傘や日傘、サンダルの使用も禁止

④ ピットレーン上での作業

⑤ 作業エリア、サインエリアでの飲食

⑥ 喫煙

【各エリアの役割と使用方法】

サインエリア＝レース中の車両へサインを掲示する場所。ここの柵に登ることは禁止されています。

ピットレーン＝車両優先です。スピードは 60 キロ以下厳守。メカニックの飛び出しに注意して移動ください。

青い区分線＝ピットレーンと作業エリアの境界線です。人の立ち止まりや停車禁止場所。常に空けておきます。

作業エリア＝ピットイン時の一時的な停止場所。ピットレーンと平行に停車してください。

ドライバー交代の時はこの場所を使用します。ドライバーはヘルメットを被り視界がとても狭くなっています。移動時はパッセンジャーやピットクルーと協力して周囲を確認するようお願いします。

長く停車する場合や修理作業等はピット内に移動してください。

クラス一覧表

部門	クラス名称	対象車種一例
ガソリン	G-1	軽自動車（G-1 クラスは Enjoy60 のみ参加可）
	G-2	BMW1/2 シリーズ(X 含む)、メルセデスベンツ A クラス、VW ポロ、VWUP!、 プジョーRCZ、ボルボ V40-T3、AUDI A1/A3/A4(1.0L,1.4L) ロードスター(ND)、オーリス(ターボ)、ヴィッツ、ヤリス 1.0、ヤリス 1.5、GR ヤリス 1.5、マーチ、ノート、Fit、フリード、CH-R、シビックタイプ R(EK9、含む FK7)、トゥイ ンゴ(0.9ℓ3 気筒)ルノールーテシア(1.2T)、スズキスウィフト、フィアット パンダ、シビ ック タイプ R(EK9)、シビック(1.5T)
	G-3	BMW3/4 シリーズ(X 含む)、メルセデスベンツ C クラス、VW ゴルフ、VW シャラン、 AUDI A3/A4/A5/A6/TTS(1.8,2.0) 、MINI JCW、DS3、ルノーメガーヌ (2.0T)、ルノールーテシア(1.6T)、カングー、ボルボ V60、S60(1.6T) シビックタイプ R(EP3 以降)、ストリーム、レクサス IS と RC、トヨタ 86/スバル BRZ、 GR ヤリス 1.6T、レヴォーグ 1.6GT-S
	G-4	BMW5/6/7 シリーズ(X 含む)、メルセデスベンツ E/S クラス、 AUDI A6/A7(3.0)、クラウン、フーガ、レクサス LS、 GR86/BRZ(ZN8/ZD8、WRX s4
ディーゼル	D-1	デミオ、アクセラ(1.5)、など シトロエン C4 カクタス、F56 COOPER(B37C15A)
	D-2	アクセラ(2.2)、アテンザ、MAZDA3 など BMW118d、BMW320d、AUDI A7 など メルセデスベンツ E 220d、ボルボ V40-T3 など
ハイブリッド	HV-1	アクア、ヴィッツ HV、シエンタ HV、ヤリス HV ノート e-POWER、オーラ インサイト 1
	HV-2	プリウス(10、20) インサイト 2、CR-Z、シビック HV アクセラ HV
	HV-3	プリウス(30、α)、オーリス HV、カローラ HV、レクサス CT200h Fit HV、ヴェゼル HV、フリード HV、インサイト 4 ルノールーテシア HV
	HV-4	プリウス 50 C-HR
	HV-5	レクサス HS、SAI、レクサス IS300h インプレッサ HV、アコード HV MX-30(2.0 マイルド HV)

	HV-6	スカイライン HV、レクサス GS450ｈ、クラウン HV BMW アクティブ HV、メルセデスベンツＳクラス HV
	SHV スーパーハイブリッド	HV の競技用車両、車検対応外の HV 車両が対象
プラグイン ハイブリッド	**PHEV**	対象車種は「プリウス PHV・PHEV」のみ 【PHEV クラスについて】 現行の PHV と PHEV 車は車種により性能差がとても大きくクラス分けが困難な状況下にある為、プリウス専用クラスとして設定しています。今後の PHEV 普及に伴い引き続きクラス分けを再設定して行きます。 なおプリウス以外の PHEV 車両に関しては「参考出走」として参加できます。
燃料電池	**FCEV**	燃料電池車を対象
電気自動車	**BEV**	電気自動車を対象 1） ルールブック最終ページ(P21)の「電気自動車クラスの追加ルール」をご覧ください 2） 60 と 180 の W エントリーは出来ません。 3） 参加台数を制限する場合があります。

【捕捉】

- 「対象車両」は現状掲載されていない車両も多々あります。また追加を希望する車両があればお問い合わせください。
- 低燃費技術が採用されている車両が参加対象となります。
- メーカー純正の状態でメーターパネルに「平均燃費と、その走行距離」が表示できない車両は参加で来ません。また車種やグレードにより表示できない場合や、その平均燃費に対しての走行距離が表示できない車種もあります。必ず現車を確認してからお申込みください。
- 車両には有効な車検証が必要です（SHV クラスを除く）。
- 車高が高いワンボックス車(一部機種除く)や RV 車は参加対象外となります。
- フェラーリ、ポルシェ、ランボルギーニなどのスーパースポーツは参加できません。

車体の変更改造範囲について(車両規定)

1) SHV クラス(スーパーハイブリッドクラス)を除き、全てのクラスは車検に対応した改造範囲に限ります。
2) 車検で改造申請を行う必要がある改造や、競技用部品の装着車両は SHV クラスでご参加ください。
3) SHV クラスを除き、シートや内装の取り外しは禁止となります(金属や通電する素材の露出は禁止)。
4) フロントグリルにテーピングを施す際は、元の形状を変更させないように処理してください。形状を変更させるテーピングは禁止となります(SHV を除く)。

パワーユニットの改造範囲について(車両規定)

1) 全クラスにおいて動力バッテリー、動力モーター、それらのメインハーネスの加工、変更、追加は禁止。

2) エンジン・ミッションと、それらのコントロールユニットの改造や変更禁止(SHV を除く)。
3) ECU の書き換え禁止(SHV クラスを除く)。但しメーカー純正のバージョン・アップデートは可。
4) ECU を任意にコントロールできる装置や診断装置、ODB テスターを車両に接続したままでの走行は禁止。
5) 各種メーターとデータロガーの取り付けは可(ODB コネクターより接続可)。但し ECU を任意にコントロールできる機能が含まれていないこと。
6) スロットルコントロールユニットの取り付けや、スロットルボディを変更した車両は SHV クラスでご参加ください。
7) ノーマルクラスにおけるパワーユニットに関連し変更できる部品は以下の通りです。
バッテリー(動力バッテリーは不可)、スパークプラグ、エアクリーナー(ボックス変更不可)、オイル類、グランドワイヤーの追加。

レースの手順

1) 参加確認(参加受付)

参加者の最終確認と発信機等を配布します。Enjoy60 については、グリッド決めの抽選を行います。
参加選手は「参加誓約書」を持参し、時間内に受付へ来てください。なお FISCO ライセンス保持者は必ずご提示ください。大会当日の朝は急いで参加確認を済ませ、車検の受検準備を行ってください。車検時間内に受検できない場合出走できません。

2) 車両検査(走行前検査)

係員が各ピットを巡回し参加車両の最終確認を行います。確認作業に備え事前に準備しておいてください。
主な確認事項は下記の通りです。

- ✓ 不要な荷物を車内から降ろしましたか？
- ✓ 牽引フックが正しく装着されていますか？
- ✓ 発信機は正しく装着されていますか？
- ✓ 外装やゼッケンに異常はありませんか？
- ✓ ガソリンは十分に入っていますか？

その他、必要に応じ車検員がドライバーに質問するので車両確認に立ち会ってください。

【重要!! 車両検査(走行前検査)とは】
走行に必要な基準を満たしているか、第三者により最終確認を行うものです。参加クラスに合致しているか否かを確認するものではございません！参加車両は予めクラスに合致した状態でお申込み、そしてご来場ください。

3) ブリーフィング

参加者は全員参加必須となります。コースコンディションや注意事項などの最終確認を行います。

4) PHEV クラスに対する特別ルール

① PHEV クラスは、2020 年度より「Master of Ecocar」対象なります。但し車種はプリウス PHV・PHEV に限定します。
② 参加できるレースは、Enjoy60 と Challenge180 のダブルエントリーのみとなります。
③ PHEV クラスの車両には、他車との燃費性能差を埋めるために、以下のハンディキャップポイントがかかります。

Challenge180	PHEV クラス参加台数×1.2 ポイント加算
Enjoy60	PHEV クラス参加台数×1.8 ポイント加算

④ Challengen180 の「予選/練習」においては、2 周以上周回する義務があります。なお出走しない、または周回数に満たない場合は「周回数不足」のペナルティ対象となります。
エンジョイ 60 においては練習走行の参加義務はございません。チームの判断により出走するか否か判断できます。

⑤ プラグによる充電は、ピット内の 100V 電源のみ使用を認めます。そして、それらの使用時間の制限もありません。但し発電機などによる外部電源の使用は一切認められません。

5）練習走行（*Enjoy 60*）

① 約 20 分間の同乗走行による練習走行を行います。**（ドライバー、パッセンジャーの 2 名乗車必須）**

② ラップタイムは 4 分 00 秒以上で走行してください。これより速いタイムでの走行は禁止となります。

③ 走行中の情報や経過時間などは **FM79.7 c h** で放送され、またピット内のモニターにも表示されます。

④ 決勝のグリッドは抽選で決定します。

練習走行/タイムアタック（*Challenge 180*）

① 20～30 分間の同乗走行による練習を含んだ予選タイムアタックを行います。この間にタイム計測を行い、3 分 15 秒を基準に決勝グリッドを決定します。但し、3 分 15 秒を早着した場合、ペナルティとして基準タイム(3 分 15 秒)より早着した分のタイムと、タイムペナルティの 2 秒を基準タイム(3 分 15 秒)に加算したタイムを予選タイムとします。
なお予選には燃費ポイントを付与されません。
例：3 分 14 秒の場合、早着分のタイム 1 秒とペナルティ 2 秒を基準タイム 3 分 15 秒に加算した 3 分 18 秒が予選タイムとなり、グリッド順が決定されます。

【決勝グリッド決定基準例】
1 位　3:15.000
2 位　3:15.020
3 位　3:16.586
↓
12 位　3:18.000（タイムが 3:14.000 の場合）
13 位　3:18.105（タイムが 3:13.895 の場合）
14 位　3:19.001（タイムが 3:12.999 の場合）

② 出走しないチームは最後尾グリッドに配置します。

③ 給油が必要な場合はオフィシャルの承認を得た後にガソリンスタンドで給油します。その他の給油方法は一切認められません。

④ タイム調整のためにコントロールライン手前の急減速等は危険行為としてペナルティの対象になります。計画的に走行するよう事前準備をお願いします。

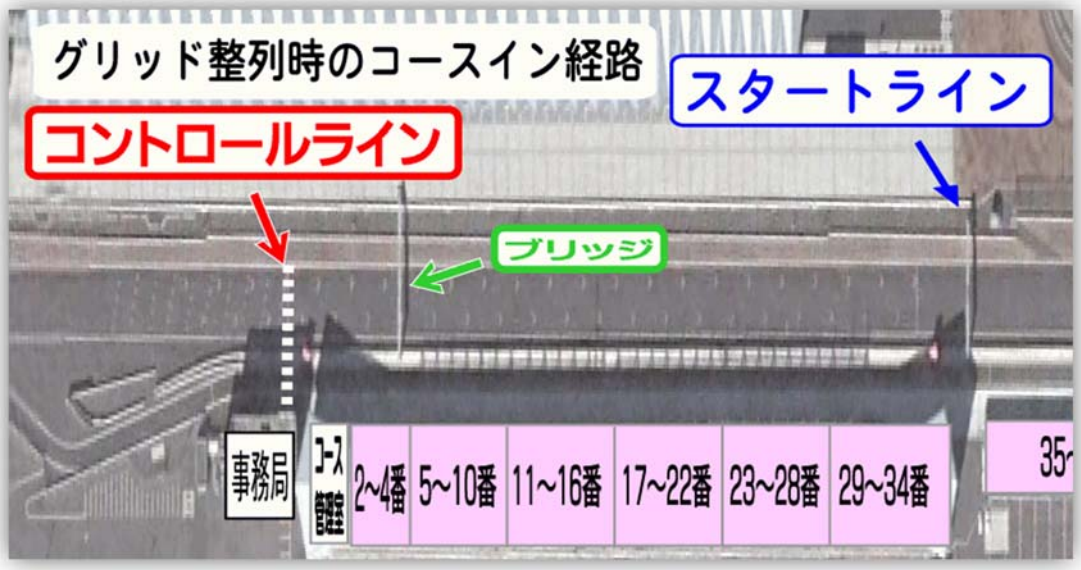
⑤ いかなる理由があろうと、予選時の全開走行は認めません。

6）決勝グリッド整列（*Enjoy 60*、*Challenge 180*）

① ピットクルーは徒歩でコースに進入し、自分のグリッドに配置する。Enjoy 60 のグリッドは抽選にて決定。

② グリッド整列の案内が流れたらヘルメット等の装備を着用し、コースインして自分のグリッドに配置する。なお時間内に移動できなかった車両はピットスタートとなります。ピットレーン、ホームストレートではピットクルーに接触しないように十分注意して運転してください。
Challenge180、Enjoy60 のダブルエントリー車両は、Challenge180 レース後、Enjoy60 レース前の給油は原

則禁止。給油を行う場合はピットスタートとなります。



スタートライン（スタートブリッジ） ： スタートシグナルや警告信号を掲示。
ブリッジ（コントロールブリッジ） ： レースタイムの掲示。 レースコントロールの掲示。
コントロールライン ： 白くて太い破線。 走行タイムの計測ポイント。

③ ‴とても重要“ドライバーは、係員と共にメーターを確認！
係員は「オドメーター」の距離を記録し「燃費計」がリセットされている事を確認します。
④ 放送が流れたら、メカニックなどはグリッドより退去。
⑤ 全車両がグリッドに整列したらスタートの進行に入る。
⑥ FM ラジオ（79.7ｃｈ）の電源を入れてください。

7） 決勝レースのスタート

Enjoy 60

① 全車両がグリッドに整列した後に「スタート 5 分前」と書かれたボードが掲示される。
② 「スタート 3 分前～1 分前」のボードが順次掲示される。
③ スターティングシグナルの赤信号 1 個が点灯する。
④ 赤信号が 2 点灯→3 点灯→4 点灯→5 点灯と続き、全てが消灯したら一斉にスタートする。なお、赤信号が消える前に車両が動くと反則となりペナルティの対象になるので注意してください。

【注意事項】

少なくともスタート 1 分前には、シフトレバーが「D」に入っていることを確認ください！
スタート時、「ニュートラル」に入っていることにより発進できない車両が見受けられます。スタート直後の追突事故を誘発する可能性があります。ご注意を！

Challenge 180

① セーフティカー(SC)を先頭にグリッドに整列する。
② 全車両がグリッドに整列した後に「スタート 5 分前」と書かれたボードが掲示される。
③ 「スタート 3 分前～1 分前」のボードが順次掲示される。

④　スターティングシグナルの赤信号 1 個が点灯する。

⑤　赤信号が 2 点灯→3 点灯→4 点灯→5 点灯と続き、全てが消灯したら SC を先頭に追い越し禁止を保ちスタートする。 ※チェックポイント！　SC 隊列走行の間はポストのシグナルは"黄色点滅"を表示しています。

⑥　SC を先頭に隊列を保ち走行を続け、シグナルが黄色点滅からグリーンに変わった時点で通常の走行となります。
※チェックポイント！　先頭車両がコントロールライン付近に近づいた時にグリーンに変わります。それまでは追い越し禁止を維持して走行を続けます。

【おまけ】

当日、スタートボードを掲示する方を募集する場合があります。体験してみたい方は事前に事務局へ名乗り出てください。

8）　レースのルール（*Enjoy 60*）

決勝レースは 1 時間耐久となります。

レース中にドライバー交代などを行いながら走行します。そのルールは下記の通りです。

①　レース中に 2 回以上のピットインを行ってください。ピットインが規定回数に満たない場合はペナルティが課せられます。

②　最短ラップタイム(基準タイム)は 4 分 45 秒

③　このタイムを超えて(速く)走ることは出来ません。これを超える毎にペナルティの対象となります。
なお、レースのスタートから始めの 1 周も 4 分 45 秒となります。

④　ドライバーやパッセンジャーの交代を行う際は、下記の手順を厳守下さい。
ピットインしたら、①指定されたピット前に停車→②エンジン停止→③ドライバーとパッセンジャーの降車→④ドライバーとパッセンジャーの乗車→⑤ピットアウト。この手順を踏まない場合やドライビングスルーなどはピットインとしてカウントされません。

⑤　ピットイン及びアウト時に急停止や急発進をしばしば見かけます。これらは危険行為とみなしオフィシャル判断の下ペナルティとなる場合があります。

⑥　ピットレーンは 60km/h 以下を厳守してください。

⑦　レース中のラップタイムや経過時間などの情報は、ピット内のモニターに表示され、また同時に FM ラジオでも放送されます（FM ラジオは場内放送を中継しアナウンサーが状況をお知らせしますが、全ての車両の状況をお伝えできるものではございません。）

⑧　レース中の給油は禁止となります。そしてガス欠により車両保管場所に辿り付かなかった場合は失格となります。

⑨　速度差による追突や接触を回避するために、いかなる理由があろうと全開走行は認めません。

レースのルール（*Challenge 180*）

決勝レースは 3 時間耐久となります。

レース中にドライバー交代などを行いながら走行します。そのルールは下記の通りです。

①　義務周回数 50 周。 義務周回数に満たない場合はペナルティが課せられます。

②　レース中に 5 回以上のピットインを行ってください。ピットインが規定回数に満たない場合はペナルティが課せられます。

③　最短ラップタイム（基準タイム）3 分 15 秒。
このタイムを超えて(速く)走ることは出来ません。これを超える毎にペナルティの対象となります。
なおレースのスタートから始めの 1 周も 3 分 15 秒となります。

④　ドライバーやパッセンジャーの交代を行う際は、下記①～④の手順を厳守下さい。
ピットインしたら、①指定されたピット前に停車→②エンジン停止→③ドライバーとパッセンジャーの降車→④ドライバーとパッセンジャーの乗車→⑤ピットアウト。この手順を踏まない場合やドライビングスルーはピットインとしてカウントされません。

⑤　ピットイン及びアウト時に急停止や急発進をしばしば見かけます。これらは危険行為とみなしオフィシャル判断の下ペナルティとなる場合があります。

⑥　ピットレーンは 60km/h 以下を厳守してください。

⑦　レース中のラップタイムや経過時間などの情報は、ピット内のモニターに表示され、また同時に FM ラジオでも放送されます（FM ラジオは場内放送を中継しアナウンサーが状況をお知らせしますが、全ての車両の状況をお伝えできるものではございません。）

⑧　レース中に給油が必要な場合はオフィシャルの承認を得た後にガソリンスタンドで給油します。その他の給油方法は一切認められません。なおガス欠により車両保管場所に辿り付かなかった場合は失格となります。

⑨　速度差による追突や接触を回避するために、いかなる理由があろうと全開走行は認めません。

8）　黄色信号

黄旗（黄信号）が表示している間は追い越し禁止となります。極端な低速車両の追い越し以外は規制区間を厳守下さい。なお規制解除は緑旗となります。

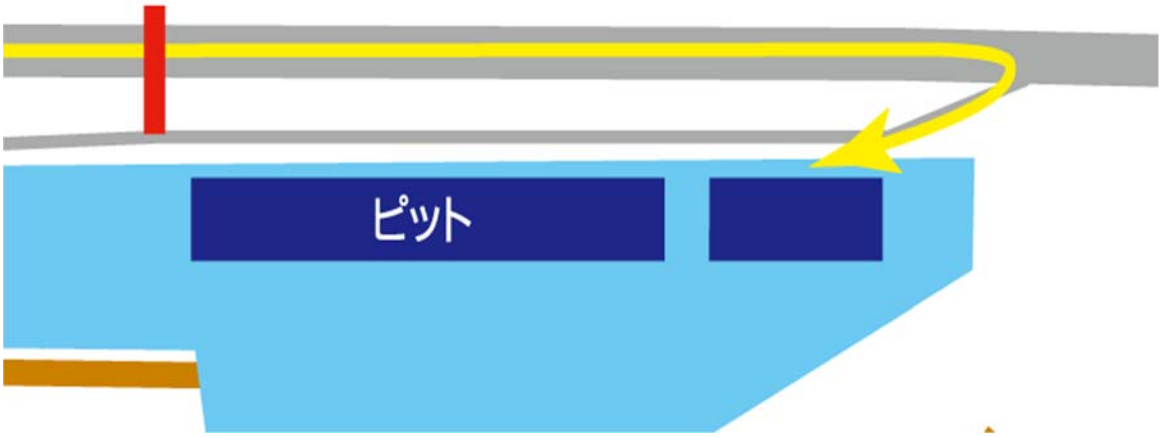
9）　赤旗について（レース中断）

①　「赤旗(赤信号)」が掲示された際の手順は以下の通りです。
レースを一旦停止しなければなら無い場合には、各ポストより「赤旗」を提示します。赤を確認したら安全な速度でピットレーンへ戻ってください。

1)　各ポストより赤旗が提示される。
2)　安全な速度（60km 以下）でピットレーンエンド(ピットロード出口)まで進み、車両を停止させる。赤旗の間に車両を自チームのピットに戻しての作業はできません！
3)　ピットレーンエンドで停止後は、ドライバー交代のみ認められます。
4)　赤旗中断の長さにより義務ピットイン回数が変動します。レース再開前に義務ピットイン回数を場内放送と、モニター画面にて公示します。なお赤旗の間はピットイン回数に含みません。
5)　ピットエンドの信号が緑になったらレースが再開し、コースインする。

10）決勝レースの終了（*Enjoy 60*）

レースがスタートし 1 時間を経過した時点で総合 1 位のチームよりチェッカーが振られます。コントロールラインを通過した車両は直ちに減速し、ピットエンドよりパドックの車両保管場所へ移動しメーターの指数を係員が確認してからメーターをリセットします。なお車両保管場所まで自走必須となります。

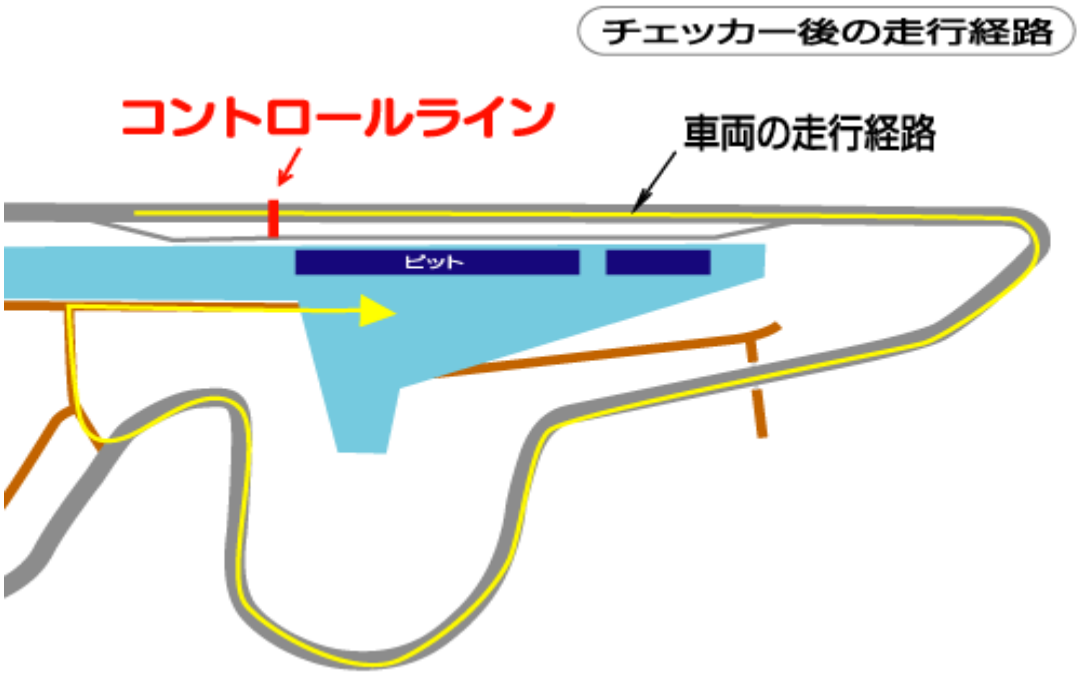


決勝レースの終了（*Challenge 180*）

レースがスタートし 3 時間を経過した時点で総合 1 位のチームよりチェッカーが振られます。この時点から追い越し禁止となり、コントロールラインを通過した車両はヘアピンコーナー(アドバンコーナー)中間の出口よりパドックの車両保管場所（パドック図参照）へ移動しメーターの指数を係員が確認してからメーターをリセットします。なお車両保管場所まで自走必須となります。手押しや牽引はできません。

60 と 180 のダブルエントリーチームは、終了直後に車両保管場所でメーター指数を係員が確認し、そのままコースインしてグリッドに整列します。ピットに戻ることはできません。180 レース後、60 レース前の給油は原則禁止。給油を行う場合はピットスタートとなります。

PHEV クラスは、チェッカーを受けたらそのまま 1 周して指定グリッドへ整列し、グリッドでメーター指数を確認する。



11）メーター指数の確認

車検員がメーター指数（オドメーター・走行距離・平均燃費）を確認します。それまでメーターに触れることが出来ません。
さらにドライバーは確認作業に立ち会う義務があり確認終了まで車両から離れることは出来ません。

12）レース結果の確定

Enjoy 60 は「決勝レース」＋「燃費(燃料消費量)」＋「ペナルティ」
Challenge 180 は「予選」＋「決勝レース」＋「燃費(燃料消費量)」＋「ペナルティ」
それらを合算し、その合計ポイントが順位として確定します。よってポイント数が少ないほど順位は高いことになります。

【再審議】

メーター指数より算出された結果において主催者が「異常値」と判断した場合は、車両検査を踏まえて厳正なる審査を行い、最終結果を確定するものとします。
なお、メーター改ざんやプログラムの書き換えなど悪質な不正行為を行ったチームに関しては失格とし、以後富士スピードウェイ主催の大会に出場する権利を失うものとします。

13）レース出走方法一覧

	前日練習	練習走行/予選	グリッド	決勝	レース	ピットイン
Enjoy60	同乗必須 4 分 00 秒以上	同乗必須 4 分 00 秒以上	抽選	同乗必須 4 分 45 秒以上	60 分	2 回以上
Challenge 180	同乗必須 3 分 15 秒を 基準に走行	同乗必須 基準タイムあり 燃費ポイントなし	予選 結果順	同乗必須 3 分 15 秒以上	180 分 50 周以上	5 回以上

14）ポイント一覧表

Enjoy60 のポイント換算

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	→
レース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	→
燃費	1	2.8	4.6	6.4	8.2	10	11.8	13.6	15.4	17.2	→

Challenge180 のポイント換算

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	→
予選	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	→
レース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	→
燃費	1	2.2	3.4	4.6	5.8	7	8.2	9.4	10.6	11.8	13	→

15）ペナルティ

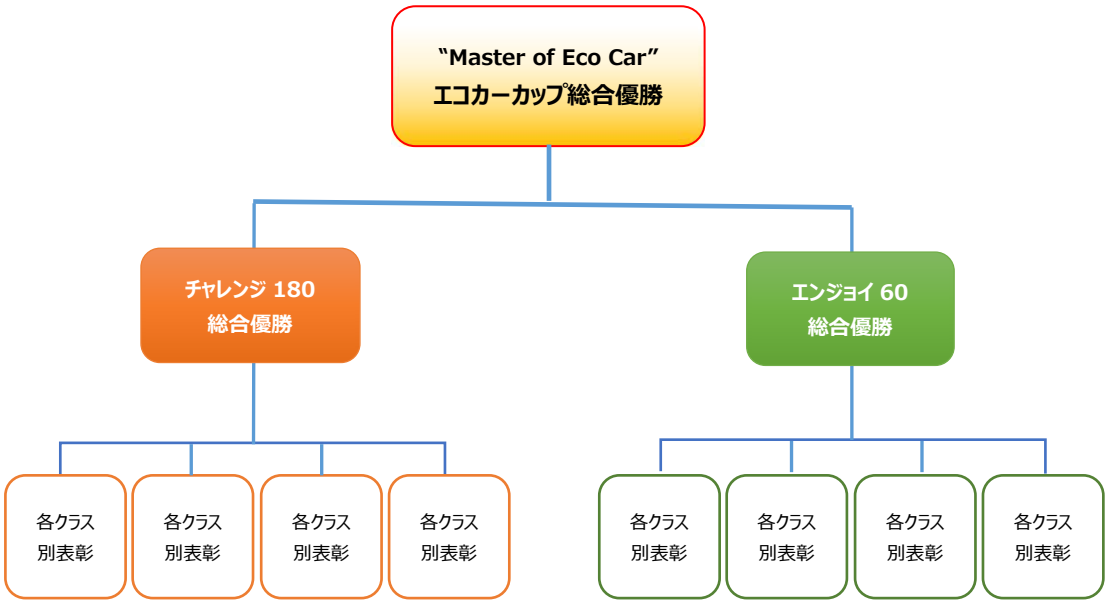
項目	ポイント数	一例
ピットレーン違反	10	ピットレーンを 60km/h 以上で走行や、ドライバー交代時の危険行為など
ピットイン回数不足	10（1 回）	ピットインの規定回数に満たない場合
周回数不足	10（1 周）	規定周回数に達せずにチェッカーを受けた場合
ラップタイム超過	10（1 回）	規定タイムを越えて走行した場合。但し極端に規定タイムを超えた場合や、それを継続する場合は「危険行為」とみなす。
フライングスタート	10	スタート時のフライング
ホワイトラインカット	5	コース入口と出口の白線をまたぐ行為。 極端な白線横断等は「危険行為」とみなす場合あり。
走路外走行	7	コース外の走行、白線外の走行
ピットエンドの信号無視	15	赤信号中にコースイン
コントロールラインでの減速	15 以上 審議による	コントロールライン付近における減速や停止により他車へ影響を与えた場合など
危険行為	審議による	幅寄せ、追突、規定外走行、走路外での追い越し、全開走行などなど・・・・・
メーターリセット	失格（200）	メーターのリセット、オドメーターと走行距離の非合致
ガス欠	失格（200）	車両保管場所まで自力で辿り付けなかった場合。
車両規定違反	失格（200）	規格外車両での参加

16）表彰式･章典

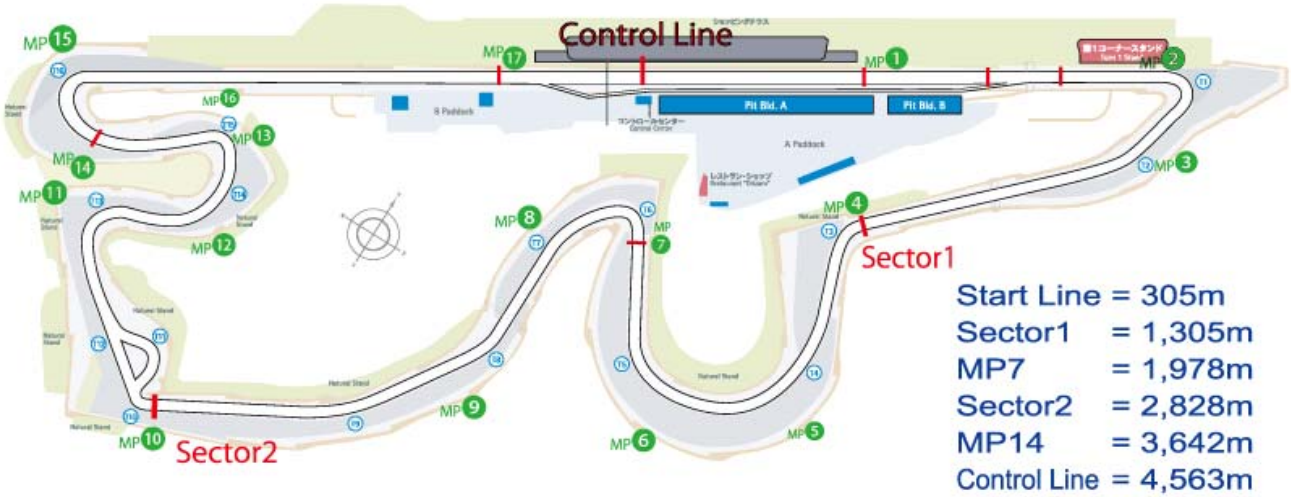
① 出走した全チームに順位を刻印したトロフィーを贈呈します。

② 賞典は「クラス別表彰」、「各レース総合優勝」、「エコカーカップ総合優勝(“Master of Eco Car”)」となります。なおエコカーカップ総合優勝は両レースに参加したチームが対象となります。（下記構図参照）なお W エントリーとは、両方のレースに同一車両、同一チームで参加するものとし、尚且つゼッケン番号も同一であることが条件となります。

③ FCEV に関しては以下の換算式により燃費を算出します。
表示燃費 × 1.02/3.79＝〇〇.〇km/ℓ



17）コース図

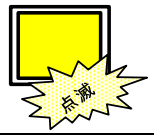


【旗に関する追加資料】

サーキット走行は、ポストからの信号旗・LED パネル型信号機や、各ブリッジに設置されているシグナルによって
合図が送られます。合図の無視、軽視、認識不足は重大な事故につながりますので、信号旗・LED パネル型信号機・シグナルの意味をよく理解してください。
信号旗の種類や意味、表示方法は基本的に FIA(国際自動車連盟)および FIM(国際モーターサイクル連盟)規定に準拠しています。なお、ポスト員が提示している信号旗と、LED パネル型信号機の表示が異なる場合は、ポスト員の信号旗が優先されます。

①黄旗の1本振動・黄色LEDの点滅表示

<信号旗>

<LEDパネル型信号機>


トラック脇、あるいはトラック上の一部に
危険箇所がある。
速度を落とし、進路変更する準備をせよ。
追い越しはしないこと。

①黄旗の2本振動・黄色LEDの交互点滅表示

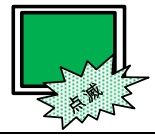
<信号旗>

<LEDパネル型信号機>

トラックが全面的、または部分的に
ふさがれているような危険個所がある。
あるいは、マーシャルがトラック上、
もしくはトラック脇で作業中である。
速度を大幅に落とし、進路変更、
もしくは停止する準備をせよ。
追い越しはしないこと。

②緑旗の振動表示・緑色LEDの点滅表示

<信号旗>

<LEDパネル型信号機>


事故現場の直後のポストで表示される。
先の合図した黄旗などの規制解除。

③赤の縦縞のある黄旗の表示

<信号旗>

<LEDパネル型信号機>

トラック上に、オイル、水、砂利などで
滑りやすい箇所がある。
注意して走行せよ。

④赤旗の振動表示・赤色LEDの点滅表示

<信号旗>

<LEDパネル型信号機>

重大な事故発生。
全車走行中止の合図であり、ポスト員が配置
されているすべてのポストで表示される。
すべての車両は最大限の注意を払い、
必要に応じて停車できる態勢でコース右側を
走行しピットレーンへ戻ること。
追い越ししないこと。

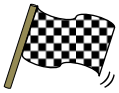
⑤白旗の振動表示・白色LEDの点滅表示

<信号旗>

<LEDパネル型信号機>

ゆっくり動く車両がある。
もしくは緊急車両が走行中である。
走行に十分注意せよ。

⑥白と黒のチェッカー旗の振動表示

<信号旗のみ>


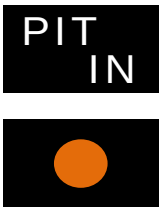
走行終了。
コース1周後、パドックに入れ。
追い越ししないこと。

⑦オレンジ色の円形のある黒旗の表示

<信号旗のみ>

車両に機械的な欠陥、またはその他の
問題あり。
それにドライバーが明らかに気づいて
いない、もしくは危険と思われる場合に
表示される。
提示を受けたら、最大限の注意を払い
ながらコースを1周し、ピットストップせよ。

⑧サインボードの提示



<提示場所>
レーシングコース：コントロールボディウム／3番ポスト／14番ポスト
ショートサーキット：ピットサインガード

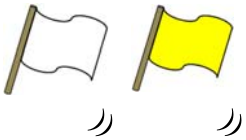
(ア)当該車両(当該ゼッケン車両)は、十分注意してコースを1周後、必ずピットインすること。
(イ)当該車両は以下のトラブル(ガソリン漏れ／オイル漏れ／半ドアなど)が発生している。
※状況によっては、セーフティーゾーンに停車させること。
(ウ)ポスト員・スタッフが誘導する場合
オイル漏れがひどい場合、各ポストで黄旗を使用し、当該車両に指示を出す場合がある。
この場合は車両を速やかに、セーフティーゾーンの可能な限りコースから離れた場所に停車させること。

(エ)ポスト員によりサインボード、またはオレンジ色の円形のある黒旗(オレンジディスク)を提示された車両は、
ピットインした後、1番ピット付近の作業エリアに停車し、スタッフの指示を受けること。

1. スポーツ走行時の特例(レーシングコースのみ)

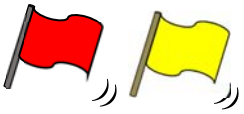
① 白旗と黄旗の２本振動表示

緊急車両が作業中、走行注意せよ。
速度を落とし、追い越しをしないこと。



② 赤旗と黄旗の２本振動表示

重大な事故発生、走行を中断すること。
全ての車両は最大限の注意を払い、
必要に応じて停車できる態勢でピットに入ること。

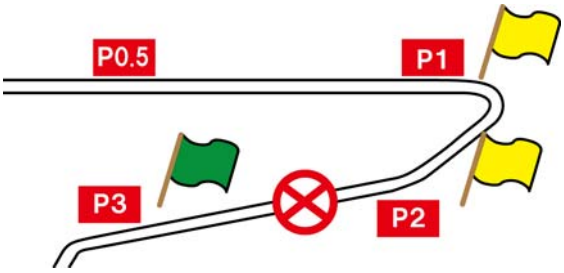


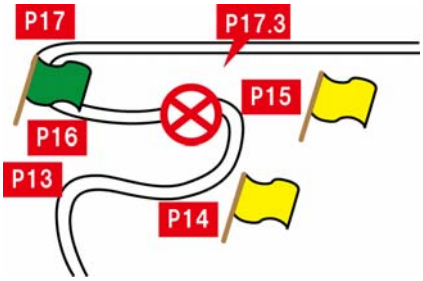
③ 赤旗の際、事故当該ポストの黄旗２本振動表示

他ポストが赤旗振動表示を行っていても、事故当該ポストが黄旗２本振動の場合は、赤旗を静止表示し黄旗２本振動が継続される。

④ 予告旗(黄旗)の振動表示

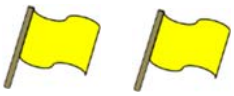
危険箇所直前のポスト以外でも、場合によっては手前の複数のポストで黄旗の振動表示が行われる場合がある。





⑤ カート枠の黄旗２本振動表示

カート枠に限りトラック上(走路)でトラブル車両が発生した場合は、黄旗は１本振動ではなく２本振動表示される。

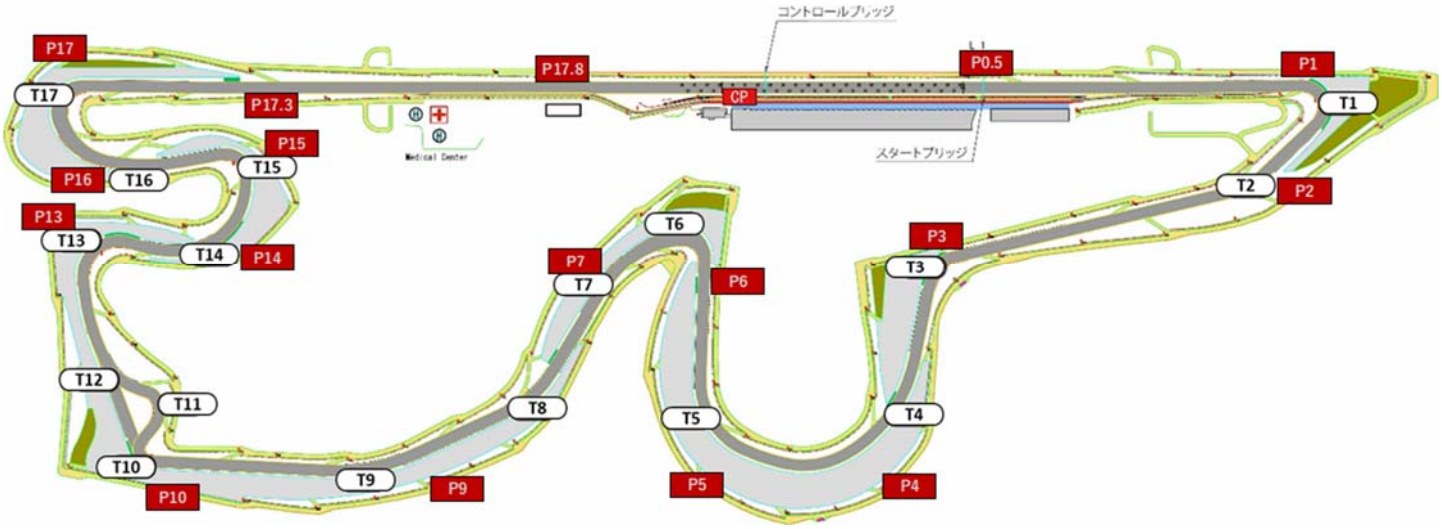


⑥ 緑旗の表示

緑旗については表示されない場合がある。

⑦ 監視員不在ポストについて

信号旗(フラッグ)は、監視員不在ポストが事故当該区間の場合、その前のポストで提示いたします。
※ポルシェゲート(入場ゲート)横に、監視ポスト員の配置状況、およびコース状況と気象状況の掲示板がありますので走行前に必ずご確認ください。



2. レーシングコース　シグナル

①　コントロールブリッジ（ゴールブリッジ）

＜通常時＞

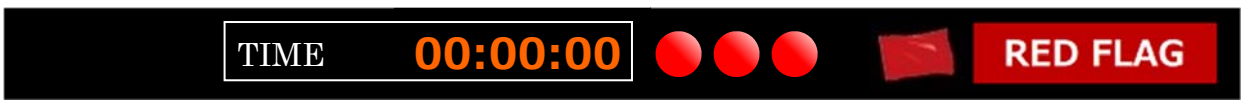
緑色のシグナルが点灯し、ランニングタイマーと走行区分(例:S-4 クラス)が表示されます。

＜走行終了時＞

黄色のシグナルが点滅し、「FINISH」が表示されます。

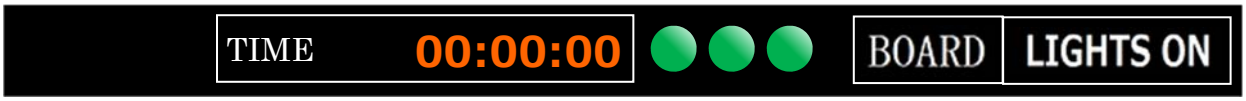
＜走行中断時＞

赤色のシグナルが点灯し、「RED FLAG」が表示されます。

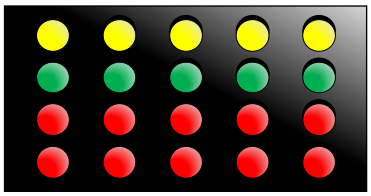


＜視界不良時＞

「LIGHTS ON」が表示されます。確認したら、ヘッドライト(スモールランプは不可)を点灯してください。



② スタートシグナルブリッジ



＜黄色点滅＞
前方でトラブルが発生中。黄旗 2 本振動と同様の対応を取ってください。

＜赤色点灯＞
走行中断。赤旗と同様の対応を取ってください。
※スポーツ走行では、緑色のシグナルは使用しません。

エコカーカップ参加の皆様へ

この度は、エコカーカップへご参加頂き誠に有難う御座います。
このレースのコンセプトは、低燃費技術が採用されている車両を使い、走行性能を追求し「いかに早く」・「安全に」・「低燃費で」走行できるかを競い合うとともに、ドライバーの運転技術向上とクルマへの理解を深めて、新たなるモータースポーツライフを発見することにあります。
富士スピードウェイでは数々の自動車競技を開催しておりますが、ハイブリッドカー、燃料電池車、を使用したレース形式は 2010 年にスタートし、歴史も浅く、未だ試行錯誤を繰り返して運営しています。 運営面においても不適切な点などは変更修正を繰り返し参加者の皆様に充実した一日を提供できるよう努力してまいります。
レース運営方針の第一に、「より安全に参加できるレース！」を念に現在もテスト走行を重ねています。然し実際レースを行い初めて修正点を発見したり、現場で修正や変更が必要とされることがあろうかと思われますが、今後のモータースポーツ発展を願い、みなさまのご協力とご理解の程宜しくお願い申し上げます。

Eco Car Cup
ECO CAR on the CIRCUIT

富士スピードウェイ株式会社エコカーカップ実行委員会

Eco Car Cup 2026 電気自動車（BEV）クラスの追加ルール

電気自動車もいっしょに楽しめる！等価燃費の計算方法とルールの解説

1. クラスの概要と対象になる車

ガソリン車やハイブリッド車（HV）と同じ土俵で「仮の燃費（等価燃費）」を競い合えるよう、新しく電気自動車（BEV）クラスを追加します。みんなで公平にエコランを楽しめる仕組みです。

- **対象になる車：** 100%電気だけで走るバッテリー電気自動車（BEV）限定です。※プラグインハイブリッド（PHEV）は、今まで通り既存のPHEVクラスのルールに従います。
- **主な車種の例：** 日産リーフ、トヨタbZ4X、テスラ Model 3 / Model Y、ヒョンデ IONIQ 5 / KONA / INSTER、BYD ATTO 3 / DOLPHIN、BMW i4 など。

2. 当日の測定方法（現場での流れ）

当日の現場の手間をなくすため、今までのガソリン車などで行っている「メーターの目視確認」のやり方をそのまま使います。特別な機械をつける必要はありません。

1. **スタート前：** オフィシャル（審判）が見ている前で、車のメーターにある「平均電費（km/kWh）」の表示を必ずゼロにリセットします。
2. **ゴール後：** 車両保管場所で、オフィシャルがメーターの「走行距離（km）」と「平均電費（km/kWh）」の数字を記録します。

3. 燃費（燃料消費量）の計算方法

記録したメーターの数字から、以下の式を使って「ガソリンに換算した仮の燃費」と「燃料消費量」を計算します。計算された燃料消費量（L）が少ない順にランキングを決め、今までの燃費ポイント表をそのまま当てはめます。

等価燃費 *[km/L(eq)]* = メーターの平均電費 *[km/kWh]* × *8.9* × *0.415*

等価燃料消費量 *[L(eq)]* = 実際の走行距離 *[km]* ÷ 等価燃費 *[km/L(eq)]*

4. 換算係数の考え方

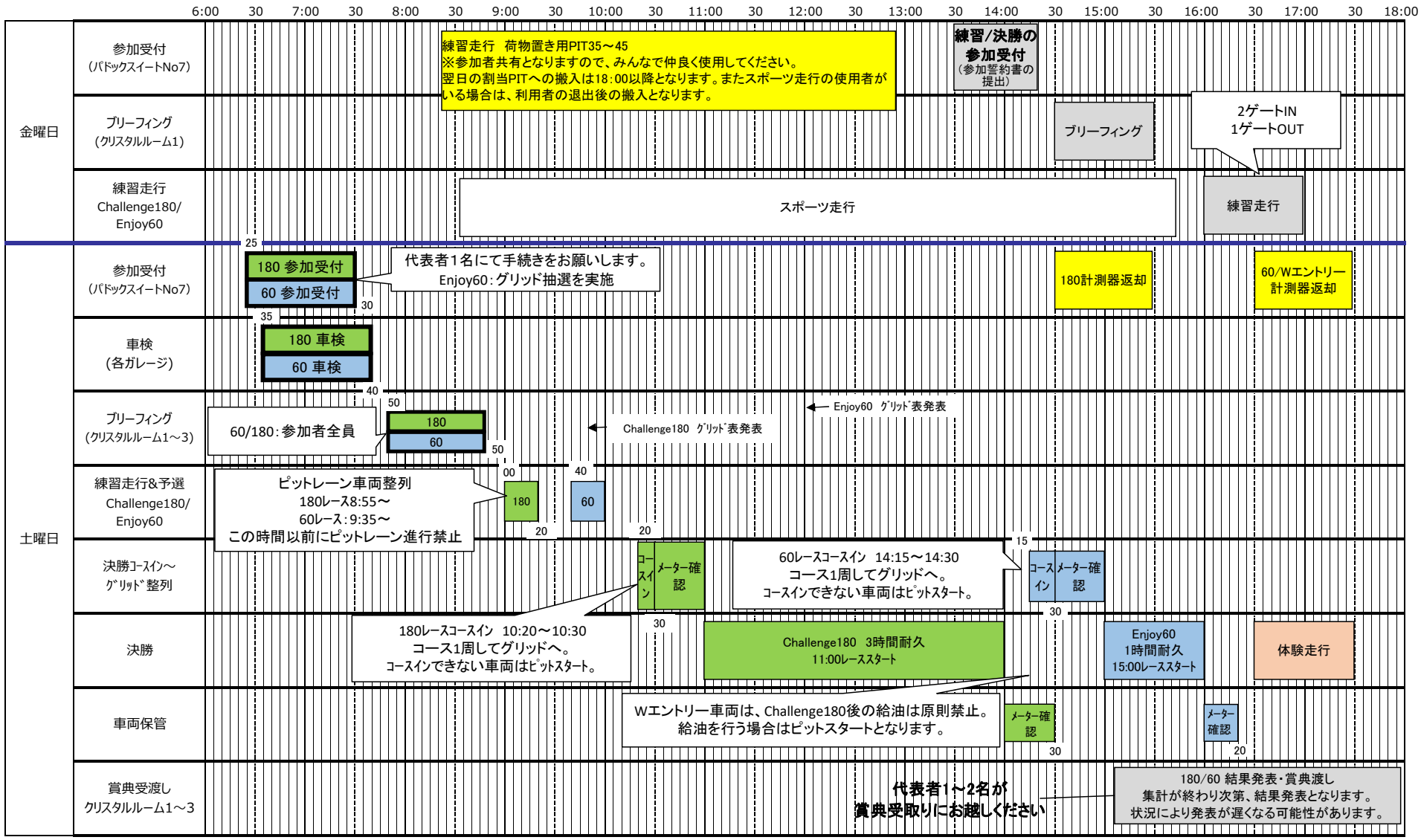
計算式に使っている「0.415」という数字は、特定の車だけが有利になったり不利になったりするような不公平をなくすため、カタログの公的なデータや市場のリアルな実態から、機械的に計算して作られています。

項目	計算に使う値	数字の決め方・意味
ガソリン車の平均	***27.15 km/L***	2024年に日本でよく売れたガソリン車・HV車（トップ10）の、カタログに載っている平均燃費です。
電気自動車の平均	***6.762 km/kWh***	日本国内を走る主なEV（16車種）の、標準的なグレードの平均電費です。
EPA換算定数	***8.9 kWh/L***	アメリカの環境保護庁が決めた「ガソリン1リットルと、電気 8.9 kWh は同じくらいのエネルギー」という世界共通の基準です。
市場の差の調整	***0.451***	EVとガソリン車の性能のベースとなる差を埋めて、不公平をなくすための調整用の数字です。 （27.15 ÷ (6.762 × 8.9) = 0.451）
充電の効率	***0.92***	充電器から車に電気を入れるときに、熱などで逃げてしまうロスを考えた数字です。「92%はちゃんと車に充電される」ものとして、一律で固定します。
最終的な係数	***0.415***	上記の「市場の差（0.451）」に「充電の効率（0.92）」を掛け算した、今回の公式で使う最終的な数字です（0.451 × 0.92 = 0.415）。

※この係数はレース結果や車両の性能向上により都度調整させていただきます

Eco Car Cup Summer Festival タイムスケジュール

V.0717



その他のお知らせ	
	大会当日 ： 東ゲートオープン＝5:45　　ガソリンスタンド"西ゲート"＝8:30（パドック内は営業していません）
	参加受付で**「参加申込書、誓約書」**の提出　　**※参加受付、車検は時間が決められております。時間厳守で手続きをしてください。**
	ドライバーズブリーフィング　：**ドライバー、パッセンジャーは参加必須**
	Wエントリー車両は、Challenge180ﾚｰｽ後の給油は原則禁止。給油を行うとEnjoy60はピットスタートになります。
	シャワールーム ： ピット16と17の間にありますので、更衣室等でご利用可能です。
	結果発表：結果発表の案内がありましたらクリスタルームにて賞典・参加賞トロフィーをお渡ししますので各チーム1～2名お越し下さい。
	前日ピットへの搬入は18：00以降となります。またスポーツ走行にて使用者がいた場合、利用者の退出後の搬入となります。

ホームストレート

A PADDOCK LAYOUT
プレスラウンジ
無参加者休憩室
スポンサールーム
ブリーフィング
&賞典受渡し
PIT BUILDING A
PIT BUILDING B
Eco Car Cup 参加者
給油導線矢印
3ゲート開放
Wエントリー車両は
次レースコースイン
ドライバー交代はグリッドで
可動フェンス1個
ECOバナー
レース後燃費計チェック
燃費計チェック後、順次車両保管解除
駐車禁止
駐車禁止
駐車禁止
出展
大会本部
Challenge180レース後動線
パイロン
のぼり
ORIZURU
Shop &
Restaurant
RENTAL SERVICE GARAGE
TIRE SERVICE GARAGE
TOILET
GATE
GUARD BOX
A-A
A-B
A-C
Challenge180
チェッカー後の移動経路

ホームストレート

Enjoy60レース後動線